

やさい つうしん 7

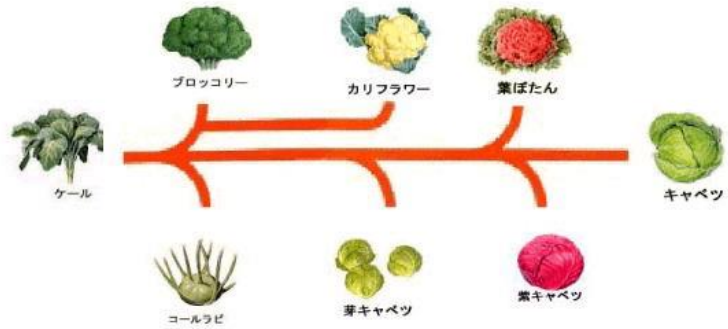
高等部 A

のうえんげいはん 農園芸班 6月10日号

キャベツ



- ① キャベツの祖先は、栄養価が高く「野菜の王様」と呼ばれ、青汁の原料として使われるケールです。



- ② キリストが生まれるずっと前（1000年以上前）からヨーロッパで食べられていました。
- ③ 葉が集まった丸い形ではなく、一枚一枚の葉が広がって出てくる形でした。
- ④ 日本には、19世紀の江戸時代にオランダから入ってきました。
- ⑤ みんなが食べるようになったのは明治時代です。銀座のレストランでカツレツにキャベツの千切りを添えて出したら評判になって広がったそうです。
- ⑥ 学校では、4月に種まきをして寒さに耐えられるようにネットをかけました。
- ⑦ 5月になり葉が出てきました。
- ⑧ ネットをかけておくと虫よけにもなります。
- ⑨ だんだん葉が大きくなってきました。
- ⑩ まんなかに葉が集まり球ができてきます。



ここで少し肥料をやります



おお たま しゅうかく
大きな玉になったら収穫です。